コンソール ビルド

「rtk_kernel for RZ/T1」を「Windowsのmsys2環境のコンソールでのビルド例を説明する」MacやLinuxでも同様なのでそれぞれの環境に読み換えてください。

準備

---

「ビルド環境構築」と「プロジェクトの取得」は、「ビルド」記事を参照して行う。

## 環境変数の設定

コンパイル実行するには、下記環境変数が設定されている事が必要。

| 環境変数 | 説明 | 備考 |
|---|---|---|
| BD | T-Kernelソースのベースパス | |
| GNU_BD | ARMコンパイラのベースパス | |

$HOME/.bashrcに下記設定を追記しておくと便利。本プログラムは C:¥work¥tk-optsys¥TK¥ にgitで取得したものとする。

```
export BD=/C/work/tk-optsys/yt-kernel/TK/tkernel_source
export GNU_BD='/C/Program Files (x86)/GNU Tools ARM Embedded/6 2017-q2-update'
```

コンパイル手順

---

T-Monitor, config, T-Kernel の3つのファイルを作成する。

## T-Monitorのコンパイル

下記フォルダにて make を実行する事でコンパイルする。

| ビルドフォルダ | 備考 |
|---|---|
| $BD/monitor/tmmain/build/app_rzt1 | |

- .debugついたフォルダでコンパイルするとデバック情報を付加する
- make cleanで生成されたファイルを削除

生成されるT-Monitorオブジェクトファイル

| ファイル名 | 説明 | 備考 |
|---|---|---|
| tmonitor | elfファイル | |
| tmonitor.mot | Sフォーマットファイル | |

## config情報のコンパイル

下記フォルダにて make を実行する事でconfigファイルを作成する。

| ビルドフォルダ | 備考 |
|---|---|
| $BD/config/build/app_rzt1 | |

- make cleanで生成されたファイルを削除

生成されるconfigオブジェクトファイル

| ファイル名 | 説明 | 備考 |
|---|---|---|
| rominfo-rom | elfファイル | |
| rominfo-rom.bin | バイナリファイル | ←これを利用 |
| rominfo-rom.mot | Sフォーマットファイル | |

## T-Kernelのコンパイル

下記フォルダにて make を実行する事でコンパイルする。

| ビルドフォルダ | 機種 | 備考 |
|---|---|---|
| $BD/kernel/sysmain/build/app_rzt | RSK評価基板 | |

- .debugついたフォルダでコンパイルするとデバック情報を付加する
- make cleanで生成されたファイルを削除

生成されるT-Kernelオブジェクトファイル

| ファイル名 | 説明 | 備考 |
|---|---|---|
| kernel-rom.rom | elfファイル | |
| kernel-rom.bin | バイナリファイル | ←これを利用 |
| kernel-rom.mot | Sフォーマットファイル | |

## コンパイルの実行例

```
$ cd $BD/monitor/tmmain/build/app_rzt1
$ make
$ cd $BD/config/build/app_rzt1
$ make
$ $BD/kernel/sysmain/build/app_rzt1
$ make
```

yt-kernel

From:
https://yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
**https://yokoweb.net/dokuwiki/develop/rtk_kernel/rtk_kernel-rzt1/build/build-console?rev=1578374226**

Last update: **2020/01/07 14:17**